

## こども燃料電池教室

南風小学校6年生

南風小学校の6年生は、2月3日と4日、学校の授業として各クラスに分かれて「こども燃料電池教室」に参加しました。

燃料電池は、南風台と美咲が丘に実証実験として設置され、発熱を温水に利用するなど、効率的でクリーンなエネルギーとして注目されています。教室では、2人の講師が石油の枯渇のことや、燃料電池が地球温暖化を防ぐために必要であることなどを、笑いを織り交ぜながら説明。

実験では、重曹や鉛筆などを使った簡単な燃料電池で電子メロディを鳴らすなどして、参加者からは、驚きの声が上がっていました。



講師の分かりやすい説明に、納得する子どもたち

## 200本のツツジを配布

都市緑化フェア前原植木まつり

恒例の前原植木まつりが、2月6日から21日まで、丸田池公園で開催されました。初日の開会式では、市に1000本、また、来場者にもツツジの苗木がプレゼントされました。

会場には、マツやサクラ、ツバキなどの植木のほか、サクランボやミカンなどの果樹も販売され、小さなものから大きなものまでいろいろな種類の植木が所狭しと展示されました。

会場では、お客さんが植木の育て方や剪定方法などを、業者の人たちに熱心に聞く姿も見られ、アドバイスを受けながら、好みの植木を購入していました。



配布された苗木は多品種の久留米ツツジ

## 弥生時代の糸島を学ぶ

糸島市合併記念特別講演会

糸島市誕生を記念して2月7日、伊都国歴史博物館で、邪馬台国の時代をテーマにした特別講演会を開催しました。講師は、邪馬台国九州説で有名な奥野正男先生。

先生は卑弥呼の「銅鏡百枚」や平原王墓について触れながら、「魏志倭人伝」と中国鏡の研究から「都は伊都国の南、千五百里と考えられることや「邪馬台国の都が九州からヤマトに遷ったのではないか」などの説について講演をされました。

この日は、奥野先生の話聴こうと当初の予定を大きく上回る人が来館しました。会場に入りきれなかった人も、廊下にいすを並べ、メモを取りながら、熱心に講演を聴いていました。



弥生時代の輝く糸島を語る奥野先生

## 南風音楽祭で地域交流

九大混声合唱団も参加

地域文化や福祉の向上を目的に南風公民館で2月7日、第7回南風音楽祭が開催され、演奏を通して地域のみなさんが交流を深めました。

この日は、小学生から大人まで11組が演奏。小学3年生のピアノの連弾のほか、親子でピアノとトランペットの演奏が披露されるなど、バラエティに富んだ音楽祭となりました。今回の音楽祭には九大混声合唱団「M・S・C」も参加。素晴らしいコーラスで会場を沸かせていました。

そして、最後はゲストの古田茂稔さん（バイオリン）と吉田雅代さん（ピアノ）が演奏し、会場には心地よい調べが流れました。



みんなの歌声で、地域の交流を深めました

## 季節の野菜を食べよう

冬の旬野菜バイキング

伊都国即売会「旬の会」は2月11日、ファームパーク伊都国で冬の旬野菜バイキングを開催。この日はあいにくの雨でしたが、予約を受けてセッとした66席すべてが埋まりました。

セリとほうれん草の白和えやおからサラダのほか、さつま芋ようかんやみかんゼリーなど、会場には冬の地元食材を使った41品目のおいしい料理がズラリと並びます。

この催しは年2回開催され、市内はもちろん、福岡市からも、楽しみに参加する人が多くいます。披露された料理のレシピも配布され、舌を通して糸島の食の魅力を体感し、地域の農業や地産地消のたいせつさを理解してもらいました。



41種類の糸島の味を堪能しました